



# 地域社会への貢献

地域社会の一員であることを自覚し、グローバルかつローカルに世界各地で社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



住友電装 (SWS)  
総務部 広報グループ長  
兼 100周年事業推進室チームリーダー

秋山 智哉

## 100周年の区切りに 地域へさらなる貢献を

当社は三重県四日市市で誕生しました。これまで経営危機も数回ありましたが、多くの関係者に支えられ、おかげさまで100周年をこの地で迎えることができました。現在の住友電装グループは、30を超える国と地域で事業展開するまでに規模を拡大しています。このため、事業にかかわる社員一人ひとりが社会の構成員の一人であることを自覚し、企業市民としてそれぞれの地域社会の発展に寄与することが重要になります。

私自身が率先して地域社会に貢献する姿勢を示すことで、当社グループ25万人の社会参画の風土を醸成し、牽引していきたいと考えています。

### 基本的な考え方

住友電装グループは、国内のみならず海外にも広く事業展開をしています。私たちは、地球上の人をはじめとするあらゆる生命体が共存共栄する世界と、それを支える地球環境全体を地球社会と認識し、当社グループのグローバル事業を成功させ、自らが繁栄することを通じてこの地球社会に貢献していきます。社会の一員であることを自覚し、企業市民として地域社会の発展への寄与、社会貢献活動などに積極的に取り組んでいきます。

#### 社会貢献活動の推進

社会貢献活動のさらなる活性化に向け、各関係会社・事業所ごとに、その地域のニーズに合ったさまざまな取り組みを行っています。近年では、当社単独の活動だけでなく、行政・NPO・ボランティア団体などと連携し、従業員に参加を呼び掛けています。

また、従業員のボランティア活動を支援するため、ボランティア休暇やカフェテリアプラン制度に加え、当社グループの社会貢献活動の活動報告や情報交換の場として、住友電装グループ報に情報を公開しています。

#### 社会貢献活動表彰

毎年、当社グループ各社の社会貢献活動の実績をとりまとめ、各社の主管者が一堂に会する会議の場で、特に模範的な社会貢献に取り組んでいる会社を表彰し、活動意欲の向上を図るとともに、事例紹介としてグループ会社内の横展開を促進しています。

選考では、継続性や地域社会への貢献度などが加味され、評価の高い事例を選定します。

7回目となる本年度の表彰においては、約47年前から社会貢献として活動している住友電装諏訪太鼓チームを表彰しました。



住友電装グループ報



表彰式の様子

## 》国内の取り組み

本社のある三重県内、その他の事業所がある地域において、地域住民の皆さまとのコミュニケーションをさまざまな形で行っています。地域防災活動への参画、祭りや花火大会といった行事支援をはじめ青少年スポーツを通じた育成支援なども積極的に行っています。

### ●福祉車両の無償貸与

設立100周年を記念した地域への報恩感謝として、ボランティアのニーズが高い福祉分野への社会貢献活動にチャレンジすべく、2017年3月に「特定非営利活動法人 風の家」、同6月に「特定非営利活動法人 なちゅらん」に福祉車両の無償貸与を開始しました。当社が福祉車両の経費・維持費を継続して負担し、障がい者施設の負担を軽減するものです。

### ●スポーツ振興

今年度もMIE WOMEN'S RUGBY FOOTBALL CLUB「PEARLS」の支援を行っています。2016年度は、7人制・15人制女子ラグビーの日本代表経験もあるトップアスリート3名を採用しました。また、2017年3月に三重県や社会福祉法人 三重厚生事業団に寄付やポッチャ用具の贈呈を行いました。ポッチャとは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者、もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。今後も、三重女子ラグビークラブチームの活動支援をはじめ、スポーツ選手の育成支援、障がい者スポーツ普及活動、スポーツ振興の支援に向け、積極的に取り組んでまいります。

### ●伊勢志摩サミットへの支援

地域への貢献として、伊勢志摩サミット受け入れ準備を進めていた「伊勢志摩サミット県民会議」への寄附、通訳隊員の派遣により、2016年9月に紺綬褒章を受章しました。

### ●みえ水素ステーション合同会社

地球環境保全への取り組みとしては、日本トランスシティ(株)、三重トヨタ自動車(株)、谷口石油(株)との共同出資により、三重県初となる移動式水素ステーションを運営する合弁会社、「みえ水素ステーション合同会社」を設立しました。三重県における水素社会の普及に向けた支援を通じ、環境に優しい地域づくりに向けて取り組みを進めています。

## 》海外の取り組み

海外の各事業所においてもその国・地域の文化・ニーズに合った社会貢献に取り組んでいます。ラマダンの食糧寄付、孤児院の支援としてクリスマスプレゼントの寄付、小学校の外壁リフォーム、癌患者への支援、環境保全活動など、幅広く取り組んでいます。

活動報告数は、2011年は84件でしたが、2016年度は205件まで報告数が増加し、7年間で約2.4倍に活動数が増加しました。(当社活動を除く)



住友電装杯の様子



貸与中の福祉車両



### 電動クルマ椅子の送迎が可能に

Voice

特定非営利活動法人「風の家」  
代表理事

野崎 多巳子 様

このたびは福祉車両を無償貸与いただき「風の家」職員および利用者一同、心より感謝しております。これまで利用者の送迎には、1台の軽車両がフル稼働していたのですが、電動クルマ椅子は対応できませんでした。今回、リフト付きの福祉車両を貸与いただいたおかげで、電動クルマ椅子利用者を積極的に受け入れることが可能になりました。現在、車椅子利用者3名のうち、2名が電動クルマ椅子を利用しています。また、福祉車両は野外活動などの行事にも大活躍しています。これまでは全員が行動する際も、送迎の問題で分離せざるを得ないケースが多かったのです。先日も「カラオケとランチのお楽しみ会」を開催したのですが、みな一緒に楽しむことができました。今後も福祉車両を活かし、サービス提供の充実を図ろうと思っています。

### 》グループ各社の社会貢献活動報告件数の推移

